

【大学生グループインタビューの概要】

▶ 実施日

2026年 1月19日(月) 2限(10:50~12:30)

▶ 対象

大正大学(地域創生学部公共政策学科)の学生 20名(3・4年生)

▶ ヒアリング項目

- ① 中学時代で印象に残っている空間
(好きだった 良く過ごした場所)
- ② 中学時代の経験で今に活かされている
と思うこと
- ③ 中学生に戻れたらこんな学校で過ごしたい



①中学時代で印象に残っている空間

②中学時代の経験で今に活かされていると思うこと

- おしゃべりをしたり遊んだりした教室、中庭、音楽室、保健室など、友人と時間を過ごした場所が印象に残っている。
- 一方で、階段の踊り場やベンチなど、人のいない静かな場所でひとりで過ごしたことも思い出になっている。
- 体育館や校庭、音楽室など、部活動で使った場所が印象に残っている。
- 連絡通路、校舎の入口、正門・裏門など多くの生徒が行き来する場所が印象にあり、行きかう人を見ているのも好きだった。
- 早い段階からパソコンに触れる機会があって、基礎的な力が培われたことは今にも生かされている。



通っていた学校のマップを書いて、印象に残っている場所にシール貼り

③中学生に戻れたらこんな学校で過ごしたい (あったら良いと思う空間や設備)

<学習環境>

- 室内の温水プールの方が水温が安定していて年中使えるし、プライバシーが保てる。周辺地域にも騒がしくないなど、気兼ねなく使うことができるので良い。
- 生徒の「これをやりたい!」という思いを叶えられるような場所・空間があるとよい。
- 受験の時に自習室や息抜きに運動できる場所が欲しかった。
- 授業の時だけでなく、昼休みなどにも自由に使用可能なパソコン室があると良い。授業が楽しかったのでパソコンに触れる機会がもっと欲しかった。
- 黒板が小さかったり、日差しの影響で見えづらいこともあったので、プロジェクターや電子黒板があると良い。
- 勉強や部活用具など、自分の荷物を全て置けるサイズの大きい、鍵付きのロッカーがあると良い。

<学校生活>

- 教室以外に交流できる場がほとんどなく、別のクラスの人とは廊下やトイレで話していた。誰でも使える教室、**広場のような、フリーに使えるスペース**があると良い。
- 学年集会ができるくらいの**広いスペース**でも、**少人数で集まれる場所が点在**しているのも良いと思う。
- 雑談スペースは区切られていると入りにくいこともあるので、**オープンなスペース**の方が良い。**廊下の椅子やベンチ**でも構わない。
- 校内でスマホ使用はできなかったが、結局みんな隠れて使っていたので、それならば「**スマホ使用可能なスペース**」を設けた方が良い。
- 複数の部活が同時にできたり、テニスコートが2面取れる**広さのある校庭**があると良い。体育館も持ち回りだったので、使えない時に練習できる場所が欲しかった。
- 着替えや部活の用具の保管が大変だったので、**部活動用のスペース**があると良い。
- 教室や体育館の冷暖房設備、自動水栓、清潔なトイレなど、**快適に過ごせる設備**が整っていると良い。

<ユニバーサルデザイン>

- 骨折などのケガをした時の移動や椅子の持ち運びを考えると、エレベーターやスロープは必要だと思う。

<自然環境・景観>

- 校庭の通路に並木があって、その雰囲気は良かったが、「この学校と言えばこの木」というものがなかった。学校のシンボルになるような樹木があると良い。
- 学校の周囲全面にネットが張っており、花壇が教室(校内)側からしか見えないようになっていた。校外からでも見えるように工夫すると景観面で良くなると思う。

<安心安全>

- 備蓄倉庫など災害時でも安心できる設備があると良いと思う。
- 部活等でナイター練習ができるように校庭に照明があると良い。照明がないと、安全面でも問題がある。

<地域との連携>

- 町会や自治会との交流が小学校ではあったが中学校では減ったのが残念だった。その地域でしかできないような体験プログラム、地域の歴史学習などが地域と連携して実施されるとよい。
- 生徒にとって使いやすい学校であることが重要だ。地域の人があまり多く出入りすると、思春期の生徒の中には不安定になってしまう人もいるかもしれないので、地域に開放する空間は職員室の近くなど、人の目が届く場所が良いと思う。